

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成30年9月12日	使用開始日	
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	福永 睦
レジメン名	アービタックス【初回】+イリノテカン(ホスアプレピタント)		
疾患名		アービタックス初回患者の1コース目の計画登録にはこれを用いる。	
適応分類	進行再発	適応の備考	アービタックスをすでに使用している2回目以降の患者、2コース目以降の登録には、アービタックス【2回目以降】+イリノテカンIを使用すること。
1コース日数	14	日間	総コース数
抗がん剤投与量・投与日		アービタックス400mg/m ² day1,250mg/m ² day8、イリノテカン150mg/m ² day1	
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)		(day)	

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body	15 分	●													
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2mL	1 本 / body		●													
		ポラミン注5mg/1mL	1 本 / body		●													
2	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●													
	点滴静注	アービタックス	400 mg / m ²	2 時間	●													
3	主ルート	生食250mL	1 本 / body									●						
	点滴静注	アービタックス	250 mg / m ²	60 分								●						
4	主ルート	生食100mL	1 本 / body	1 時間								●						
	点滴静注																	
5	主ルート	生食250mL	1 本 / body	30 分	●													
	点滴静注	ホスアプレピタント注150mg	1 本 / body		●													
6	主ルート	抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴																
	点滴静注	ハロ/セトン注ハック0.75mg50mL	1 本 / body	30 分	●													
7	主ルート	生食500mL	1 本 / body	90 分	●													
	点滴静注	イリノテカン	150 mg / m ²		●													
8	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●													
	点滴静注																	

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

- ・ホスアプレピタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
- ・ホスアプレピタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
- ・ホスアプレピタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。

アービタックス: 希釈は生食のみ。

アービタックス: 前投薬として、アービタックス投与前に、ポラミン注及びデキサート注が必要。

アービタックス: 投与終了後は、infusion reactionを観察するため、1時間の観察時間が必要であり、単独投与の場合は初回アービタックス投与後生食100mLを1時間かけて滴下する。

アービタックス: 投与速度は1回目のみ2時間、2回目以降1時間。

アービタックス: 投与終了後は、本剤と同じ速度でラインを生食でフラッシュすること。

アービタックス: 初回投与時は、400mg/m²を2時間かけて投与、2回目以降は250mg/m²を1時間かけて投与すること。

・day1 デキサート注は、3.3mgでも可